

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 岐阜日中交流促進会

1. 事業名称

岐阜県「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

2. 事業の目的

少子高齢化による日本人口の減少、専門的・技術的分野における外国労働者の受入の促進などの要因から、「多文化共生」社会を構築することが求められています。東日本大震災の後、コミュニケーションや絆、連帯の大切さも実感されました。

そんな今だからこそ、外国人が増え続けている日本の社会においては、外国人住民も日本語による円滑なコミュニケーションを実現し、地域住民として自立した生活を送り、また他の住民と良好な関係を築き、地域社会が活性化し、創造性と活力に満ちた豊かな社会として発展を続けることが期待されます。その中、日本語教育の果たすべき役割も大きくなっています。

岐阜県外国人登録者数/市町村別の統計データ(平成24年12月末現在)によると、岐阜県内では14,920人の中国籍外国住民が在住しており、その内の半分以上が岐阜市及び近隣市町村に住んでいます。それに、日本国籍を取得した中国の出身者と合わせると、中国語を母語とする外国人住民数は更に増えます。

しかし、多くの中国語を母語とする在住中国系住民は日本に永住希望を持っているものの、日本語によるコミュニケーション能力が不十分に、文化・生活習慣の相違に加え、地域社会において様々な不便、トラブルを引き起こしうるのが現状です。また、日本語学習の中でも、初心者の多くは母語を加えた説明により分かりやすい授業方を求めています。

このような社会的なニーズ及び地域の状況を踏まえ、岐阜日中交流促進会は、地域の多文化共生社会の構築に向けた社会的責任並びに日中交流促進事業の一環として、岐阜市及びその周辺地域に在住する中国語を母語とする住民を対象に、「東海 中国人のための日本語教室」を中核とした岐阜県「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を実施しました。

3. 事業内容の概要

地域の中国系住民を対象とし、主に豊富な教育経験を持つ中国人講師が母国語で分かりやすく講義を行いました。それとともに、日本語教育資格を有するプロの教師を定期的に招き、質問や疑問等をクリアして一層習得効果を向上します。

授業は、初級クラスと中級クラスが同時に進行し、日本語能力が異なる家族でも同一時間帯に受講することを図ります。授業の内容について、正式な日本語教材を基本とし、日本の文化や社

会的常識、岐阜地域における生活情報、社会的なルールなども授業内容に取り入れています。

更に、他機関や団体との連携・協力に基づき、外国系住民の関心事を反映した防災、教育や文化交流などを参画し、生活に必要な日本語を活用することで学習効果を向上するとともに、受講者数の増加を図ります。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年6月30日 (土) 15:00～18:00	3時間	岐阜日中交 流促進会 事 務局 会議スペース	加納 正子 内藤 誠治 天野 卓男 呉 志良 辛 軍青 銭 萃芬 馬 励	1. 委託事業の審査結 果について 2. 事業の内容と運営 について	1. 委託事業の審査結果について ・平成24年度「生活者としての外国 人」のための日本語教育事業【地域日 本語教育実践プログラム(B)】の概要説 明 ・「岐阜県「生活者としての外国人」 のための日本語教育事業」の申請経 緯、結果の報告 2. 事業の内容と運営について 2.1 実施体制 ・担当者、講師および補助者の選任 2.2 事業内容と検討課題 ・講義の進め方、内容構成 ・会場選定、開催日 ・広報、募集方法
2	平成24年8月4日(土) 15:00～18:00	3時間	岐阜日中交 流促進会 事 務局 会議スペース	内藤 誠治 天野 卓男 呉 志良 辛 軍青 銭 萃芬 馬 励	1.「東海 中国人のた めの日本語教室」事 業の運営状況につ いて 2.その他協働事業の 内容と運営状況につ いて	1.「東海 中国人のための日本語教 室」事業の運営状況について 1.1 7月運営状況の報告 ・講義内容の確認 ・今年度の受講者状況とレベルにつ いて 1.2 検討事項 ・駐車場不足の対応 ・来場者の安全確保 2. その他協働事業の内容と運営状況 について ・「長良川薪能」文化交流イベントへ の参加予定について ・「食文化」、「教育」、「防災」等各 テーマイベントの計画について
3	平成24年10月13日 (土) 14:00～17:00	3時間	岐阜日中交 流促進会 事 務局 会議スペース	加納 正子 内藤 誠治 天野 卓男 呉 志良 辛 軍青 銭 萃芬 馬 励	1.「東海 中国人の ための日本語教室」事 業の運営状況につ いて 2. その他協働事業の 内容と運営状況につ いて	1.「東海 中国人のための日本語教 室」事業の運営状況について 1.1 8～9月運営状況の報告 ・講義進捗状況の報告と今後の講義 内容の確認 ・生活ための情報提供と日本語能力 の強化について 1.2 検討事項 ・受講者へのフォロー対応について ・駐車場不足の対応と来場者の安全 確保 2. その他協働事業の内容と運営状況 について ・「食文化」、「教育」交流イベントの 計画および準備状況について ・「文化交流」、「防災」等各テーマ イベントの計画について

4	平成24年12月1日 (土) 9:00～12:00	3時間	岐阜日中交 流促進会 事 務局 会議スペース	内藤 誠治 天野 卓男 呉 志良 辛 軍青 銭 幸芬 馬 励	1. 「東海 中国人の ための日本語教室」事 業の運営状況につい て 2. その他協働事業の 内容と運営状況につ いて	1. 「東海 中国人のための日本語教 室」事業の運営状況について 1.1 10～11月運営状況の報告 ・講義進捗状況の報告と今後の講義 内容の確認 ・受講者のレベルに合わせた講義の 内容充実について 1.2 検討事項 ・受講者の学習意欲向上について ・受講者からの生活相談対応につい て ・来場者の安全確保 2. その他協働事業の内容と運営状況 について ・「食文化」、「教育」等の交流イベ ントの結果報告 ・「防災」、「文化交流」等各イベント の計画および準備状況について
5	平成25年3月17日 (日) 18:00～21:00	3時間	岐阜日中交 流促進会 事 務局 会議スペース	加納 正子 内藤 誠治 天野 卓男 呉 志良 辛 軍青 銭 幸芬 馬 励	1. 「東海 中国人の ための日本語教室」事 業の運営状況、結果 について 2. その他協働事業の 運営状況、結果につ いて 3. 全体の事業報告につ いて 4. 全体の事業収支決 算について 5. 委託事業終了後の 日本語教育活動につ いて	1. 「東海 中国人のための日本語教 室」事業の運営状況、結果について 1.1 運営状況、結果の報告 ・12～3月講義進捗状況、事業全体 の運営結果の報告 ・講義の内容充実および改善結果に ついて 1.2 検討事項 ・受講者の要望および課題について 2. その他協働事業の運営状況、結果 について ・「防災」、「文化交流」等の交流イベ ントの結果報告 3. 全体の事業報告について ・事業内容報告(案)の承認 4. 全体の事業収支決算について ・事業収支決算(案)の承認 5. 委託事業終了後の日本語教育活動 について ・多様なニーズに応えられる体制づく りについて ・地域他団体・機関との協働強化に ついて

【写真】



写真 運営委員会 会議風景

5. 取組についての報告

○取組1: 「東海 中国人のための日本語教室」事業

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本語基礎能力について、初心者は日常生活会話が困らない程度の日本語能力を身に付けます。また、中級の受講者は、日本語能力をN3のレベルに達することを目標とします。

地域社会の生活者として、自立しながら異文化を理解しあい、尊重しあい、互いに共鳴しながら暮らす社会を目指します。

(2) 取組内容

初級、中級2クラスを設け、計46回教室を運営しました。母国語は中国語とする講師二名と日本人の日本語専門の講師一名で授業を行いました。

(3) 対象者

岐阜市及び近郊に在住している、中国人及び母国語は中国語とする日本人

(4) 参加者の募集方法

岐阜市公共施設(市役所)、国際交流団体窓口(市国際交流協会インフォメーションスタンド)、外国人登録窓口などにチラシを配置すると同時に、小中学校の外国籍児童、生徒指導員によりチラシ配布や、岐阜華人華僑会及び岐阜地域における中国系住民のネットワーク(口コミ等)を活用して受講者を募りました。

(5) 参加者の総数 50 人

(出身・国籍別内訳 日本 8人、中国 42人)

(6) 開催時間数(回数) 138 時間 (全 46 回)

(7) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	2012年7月22日 13:00～16:30	3時間	17人	中国(13人)、日本(4人)	自己紹介	簡単な自己紹介方法を教える 日本語基礎能力を確認して、これからの授業で個々の能力を配慮して進める。
2		3時間	18人	中国(13人)、日本(5人)	自己紹介	自己紹介のこつを教える 日本語基礎能力を確認して、これからの授業で個々の能力を配慮して進める。
3	2012年7月29日 13:00～16:30	3時間	16人	中国(13人)、日本(3人)	挨拶	基礎日本語を学習する 挨拶1を学習
4		3時間	19人	中国(15人)、日本(4人)	挨拶	基礎日本語を学習する 挨拶1を学習
5	2012年8月5日 13:00～16:30	3時間	16人	中国(13人)、日本(3人)	日本文化	基礎日本語を学習する お盆文化を学習
6		3時間	15人	中国(13人)、日本(2人)	日本文化	基礎日本語を学習する お盆文化を学習
7	2012年8月26日 13:00～16:30	3時間	16人	中国(12人)、日本(4人)	学校生活	基礎日本語を学習する 子供の学校生活について学習
8		3時間	13人	中国(11人)、日本(2人)	食文化	基礎日本語を学習する 食文化について学習
9	2012年9月2日 13:00～16:30	3時間	13人	中国(10人)、日本(3人)	交通	基礎日本語を学習する 交通1について学習
10		3時間	18人	中国(13人)、日本(5人)	買い物	基礎日本語を学習する 買い物1について学習
11	2012年9月9日 13:00～16:30	3時間	16人	中国(10人)、日本(6人)	交通安全	基礎日本語を学習する 交通安全2について学習
12		3時間	15人	中国(9人)、日本(6人)	買い物	基礎日本語を学習する 買い物2について学習
13	2012年9月23日 13:00～16:30	3時間	14人	中国(10人)、日本(4人)	交通	基礎日本語を学習する 公共交通機関
14		3時間	16人	中国(13人)、日本(3人)	交通	基礎日本語を学習する 公共交通機関
15	2012年9月30日 13:00～16:30	3時間	15人	中国(9人)、日本(6人)	季節の行事	基礎日本語を学習する 秋のイベントについて
16		3時間	14人	中国(10人)、日本(4人)	季節の行事	基礎日本語を学習する 秋のイベントについて
17	2012年10月14日 13:00～16:30	3時間	13人	中国(8人)、日本(5人)	スポーツ	基礎日本語を学習する 日本人のスポーツ
18		3時間	14人	中国(10人)、日本(4人)	日本食材	基礎日本語を学習する 日本食材について
19	2012年10月28日 13:00～16:30	3時間	16人	中国(13人)、日本(3人)	食文化	基礎日本語を学習する 日本の食文化
20		3時間	18人	中国(13人)、日本(5人)	スポーツ	基礎日本語を学習する 日本人のスポーツについて
21	2012年11月4日 13:00～16:30	3時間	12人	中国(10人)、日本(2人)	救急車	基礎日本語を学習する 119番、110番の通報方法や救急車の呼び方などを学習
22		3時間	15人	中国(11人)、日本(4人)	救急車	基礎日本語を学習する 119番、110番の通報方法や救急車の呼び方などを学習

23	2012年11月11日 13:00～16:30	3時間	16人	中国(13人)、日本(3人)	銀行	基礎日本語を学習する 日常生活の中で利用する銀行について(窓口、ATM)
24		3時間	14人	中国(8人)、日本(6人)	仕事面接	基礎日本語を学習する 各種面接(仕事探し、入学等)時の自己アピール方法や用語について学習
25	2012年12月2日 13:00～16:30	3時間	16人	中国(13人)、日本(3人)	医療	基礎日本語を学習する 医療保険(社会保険、国民健康保険)について学習
26		3時間	12人	中国(7人)、日本(5人)	医療保険	基礎日本語を学習する 医療保険(社会保険、国民健康保険)について学習
27	2012年12月9日 13:00～16:30	3時間	13人	中国(7人)、日本(6人)	面接	基礎日本語を学習する 各種面接(仕事探し、入学等)時の自己アピール方法や用語について学習
28		3時間	14人	中国(10人)、日本(4人)	銀行	基礎日本語を学習する 日常生活の中で利用する銀行について(窓口、ATM)
29	2012年12月22日 13:00～16:30	3時間	15人	中国(13人)、日本(2人)	税金	基礎日本語を学習する 各種税金(所得税、市・県民税、資産税等)について学習
30		3時間	16人	中国(13人)、日本(3人)	税金	基礎日本語を学習する 各種税金(所得税、市・県民税、資産税等)について学習
31	2013年1月6日 13:00～16:30	3時間	17人	中国(13人)、日本(4人)	税金	基礎日本語を学習する 各種税金の納税義務や方法、又は滞納場合について学習
32		3時間	15人	中国(10人)、日本(5人)	税金	基礎日本語を学習する 各種税金の納税義務や方法、又は滞納場合について学習
33	2013年1月13日 13:00～16:30	3時間	13人	中国(13人)、日本(6人)	年金	基礎日本語を学習する 年金保険(厚生年金、国民年金)について学習
34		3時間	14人	中国(10人)、日本(4人)	年金	基礎日本語を学習する 年金保険(厚生年金、国民年金)について学習
35	2013年1月27日 13:00～16:30	3時間	15人	中国(13人)、日本(2人)	テスト	基礎日本語を学習する 中間テスト
36		3時間	14人	中国(8人)、日本(6人)	テスト	基礎日本語を学習する 中間テスト
37	2013年2月2日 13:00～16:30	3時間	16人	中国(13人)、日本(3人)	日中文化の違い	基礎日本語を学習する 日中文化の違いという観点から、正しい感謝とお詫の仕方を勉強する。
38		3時間	15人	中国(13人)、日本(2人)	音楽	基礎日本語を学習する 会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。
39	2013年2月10日 13:00～16:30	3時間	13人	中国(7人)、日本(6人)	音楽	基礎日本語を学習する 会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。
40		3時間	15人	中国(13人)、日本(2人)	旅行	基礎日本語を学習する 会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。
41	2013年2月24日 13:00～16:30	3時間	14人	中国(9人)、日本(5人)	野菜	基礎日本語を学習する 会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。
42		3時間	13人	中国(7人)、日本(6人)	病院	基礎日本語を学習する 病気の場合、病院で使われる常用語を勉強する
43	2013年3月3日 13:00～16:30	3時間	12人	中国(8人)、日本(4人)	果物	基礎日本語を学習する 会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。
44		3時間	15人	中国(12人)、日本(3人)	日中文化の違い	基礎日本語を学習する 日中文化の違いという観点から、正しい感謝とお詫の仕方を勉強する。
45	2013年3月10日 13:00～16:30	3時間	14人	中国(11人)、日本(3人)	日本人の曖昧	基礎日本語を学習する 日本人の曖昧について。
46		3時間	13人	中国(10人)、日本(3人)	テレビ番組	基礎日本語を学習する 日本テレビ番組について。

「東海 中国人のための日本語教室」事業のチラシを以下に示します。

2012 年度

東海 中国人のための日本語教室

面向在日中国人的日语讲座

参加無料!

この日本語教室は、文部科学省の日本語教育事業の一環として実施するものです。岐阜県在住の中国人は、だれでも参加できます。授業の中では分かりやすい中国語での説明を加えます。また、日本で生活するための文化、習慣、生活知識も教えます。

- ◆ 開催日：2012 年 7 月～2013 年 3 月（第 1、2、4、5 日曜日午後、詳細は日程表を参照）
- ◆ 時間：日曜日午後 13:00～16:30（初級・中級）
- ◆ 場所：岐阜中央青少年会館
- ◆ 定員：初級、中級各 20 名（応募者多数の場合先着順）
- ◆ 受講料：無料
- ◆ 申込方法：申込書をご記入の上、FAX または郵送にてお送りください。

【申込・問合せ先】岐阜日中交流促進会
〒502-0931 岐阜県岐阜市則武 529 番地
Tel/Fax 058-233-4538
携帯 090-****-****（銭）080-****-****（馬）
（中国語・日本語対応可能）

【注意】

都合により会場を変更することがありますので、ご希望の方は、上記申込先まで必ず事前にご確認ください。お手数をおかけしますがよろしくお願いします。

这个口语讲座是文部科学省实施的口语教育事业的一部分。居住在岐阜县的中国人可以自由报名参加。在教学中同时进行用中文的说明，并且在教学内容中增加了在日本生活所必须的生活常识以及日本的风俗文化部分。

- ◆ 上课日期：2012 年 7 月～2013 年 3 月（第 1、2、4、5 星期日下午，具体时间请参照课程表）
- ◆ 时间：周日下午 13:00～16:30（初級・中級）
- ◆ 地点：①岐阜中央青少年会館
- ◆ 名额：初級、中級各 20 名（按报名顺序额满为止）
- ◆ 費用：免费
- ◆ 申请方法：请填写好申请表，传真或邮寄皆可。

【申請・諮詢處】岐阜日中交流促進會
〒502-0931 岐阜県岐阜市則武 529 番地
電話/傳真 058-233-4538
手機 090-****-****（錢）080-****-****（馬）
（中文、日語皆可）

【注意】

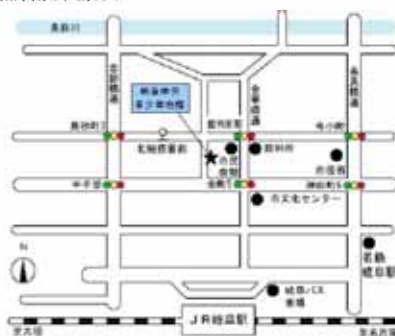
因上課教室的可否利用上的原因，上課地址可能有改變。所以，如果您想參加此口語講座，務必事前向上記的單位聯繫。

【交通アクセス / 交通路線】

岐阜中央青少年会館

〒500-8804 岐阜市京町 3-19（TEL 058-266-5134）

・無料駐車場あり



申込書（中国人のための日本語教室） / 申请表（面向在日中国人的日语讲座）

氏名/姓名		住所/地址	
電話番号/电话号码		FAX/传真号码	
所属（会社等）			

「東海 中国人のための日本語教室」事業のチラシの一部

(8) 特徴的な活動風景

a. 初級教室にて

日中文化の違いという観点から、お互いに誤解の無いように正しい感謝とお詫びの仕方を学習しました。講義の一週間以上前に、受講者に宿題として課題を与えて、自分が失礼したとき又は過ちを犯したときにどのように謝ればいいのか、感謝を受けた時どのように応えればいいのかを真剣に考えさせました。こうすることで、受講者は日本語の言い方を調べて、日本の文化習慣を理解した上で授業に臨むことができました。

b. 中級教室にて

会話能力を強化する目的で、授業はできるだけ全員対面式で行いました。「一つの話について話せるだけ話す」という練習を効果的に実施しました。また、次回講義の話題については事前に受講者みんなで決めておき、各自準備して授業に参加することで学習効果を向上させました。



写真 日本語教室 講義の状況

(9) 取組の目標の達成状況・成果

日本語教室の最終段階に教室内で日本語能力模擬試験を実施しました。その結果、80%以上の中級受講者がN3級に、79%以上の初級受講者がN5級に合格しました。日本語教室の初級、中級クラスとも、受講者は基本的な日常会話ができ、積極的に日本語で話せるようになり、日本での生活に対する不安感が減ってきたとの声が多数寄せられてきました。

(10) 改善点について

高齢の受講者は体調により欠席した場合、講師または講義補助者による個別指導が必要と考え、それぞれの受講者に対応しました。

また、1クラスに一人の講義補助者を設置しておりますが、受講者の人数が多い時に、各々の受講者レベルや年齢層に合わせて、複数人数の補助者を設置するように改善しました。

○取組2： 岐阜市市民参画部文化課との連携事業

薪能(たきぎのう)鑑賞

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本の伝統文化にふれあい、住む地域の文化活動に参加することにより、身に着ける日本語学習を目標とします。

(2) 取組内容

岐阜市市民参画部文化課が主催した、岐阜の伝統文化の一つである「長良川薪能(ながらがわたきぎのう)」行事の鑑賞に参加し、講師、講義補助者の指導により日本の伝統文化を深く理解できるような日本語教育事業を実施しました。

(3) 対象者

日本語教室の受講者と中国系住民関係者

(4) 参加者の募集方法

日本語教室受講者のネットワーク(電話・メール、SNS 連絡)

(5) 参加者の総数 12 人

(出身・国籍別内訳 中国 10人、日本 2人)

(6) 開催時間数(回数) 3 時間 (全 1 回)

(7) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	2012年8月31日 18:00～21:00	3時間	12人	中国籍 10人、日本国籍 2人	岐阜地域文化活動の参加と日本伝統文化の理解	岐阜の伝統文化の一つである「長良川薪能」行事に参加し、日本の伝統文化を深く理解できるような日本語教育事業を実施した。

(8) 特徴的な活動風景

日本伝統文化の薪能を鑑賞することにより、日本文化に触れ合う機会を提供しました。薪能は外国人住民にとっては、すべて理解するのが非常に困難と想定するため、講師が長良川薪能の歴史、背景や概略の内容を、中国語と分かりやすい日本語で説明しました。その上で、受講者は各自にしおりを参考し講師や講義補助者に質問しながら、地

域の住民とともに伝統文化を鑑賞し、薪能を気軽に楽しむことができました。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

参加した全員が満足し、受講者が伝統文化に興味を持つようになりました。中小生を中心に、今度もこのような機会があれば参加したいとの要望が増えました。このように、単純な日本語学習のみならず、日本の伝統文化に対する理解度が深まり、学習意欲の高揚にも図りました。

(10) 改善点について

イベント当日に悪天候のため、会場は急遽室外の長良川河畔から室内の岐阜市民会館に変更されたが、一部参加者への連絡の遅れが発生しました。今後、このような事態を想定し、参加者への情報伝達、緊急連絡の改善が求められます。



写真 岐阜市市民参画部文化課との連携事業 薪能鑑賞の状況

○取組3： 岐阜市国際交流協会、教育委員会などとの連携事業

日中「食文化」「教育」交流会

(1) 体制整備に向けた取組の目標

交流イベントに参加し、日本人ボランティアと日本語会話しながら、実用的な日本語を学習します。また、岐阜大学教育学部の現役大学生のプレゼンにより、日本の教育制度の理解を深めます。

(2) 取組内容

日中間の食文化の交流などを通して、地域の住民とともに活動しながら、グループごとに講師の指導を受け、生活に活用する日本語の教育事業を実施しました。また、教育委員会の協力のもとで、岐阜大学ポラネットの学生により、日本の教育・進学制度の説明を受け、講師、講義補助者の解説・通訳により日本の教育に関する疑問が解決できました。

(3) 対象者

日本語教室の受講者他、岐阜市国際交流協会ボランティアの方

(4) 参加者の募集方法

日本語教室受講者のネットワーク(電話・メール、SNS 連絡)とチラシ

(5) 参加者の総数 54 人

(出身・国籍別内訳 中国38人、日本16人)

(6) 開催時間数(回数) 3 時間 (全 1 回)

(7) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	2012年11月18日 9:00~12:00	3時間	54人	中国籍 38人、日本国籍16人	地域住民との交流および日本の教育制度の理解	日中間の食文化の交流などを通して、地域の住民とともに活動しながら、生活に活用する日本語の教育事業を実施した。

にっちゅう「しょくぶんか」「きょういく」「ざいりゅうしかく」こうりゅうかい

日中「食文化」「教育」「在留資格」交流会

中国の代表的な料理『餃子』や『チマキ』を日本人と一緒に作ります。

日本語で楽しく会話しながら「食文化」の交流をしましょう♪

食事の後は、日本の教育制度について大学生が説明します。

日本での学校生活や進学についてなど、大学生に聞いてみたいことを何でも話しましょう！

さらに、7月に新しく始まった在留管理制度の説明会も開催します。



【日時】 11月18日(日曜日) 10:00~16:00頃

【場所】 岐阜市市橋コミュニティセンター 2F 料理教室・和室会議室
(岐阜市市橋6-13-25 TEL:275-3412)

【対象】 岐阜日中交流促進会で日本語の学習をしている受講生
※ご家族での参加もOKです！

【定員】 50名 (応募者多数の場合は抽選) ※11月14日(水)応募締切

【参加費】 無料



【お問い合わせ／お申込み】

公益財団法人岐阜市国際交流協会

〒500-8720 岐阜市神田町1-11 (岐阜市国際課内)

TEL/FAX (058) 263-1741

E-mail: gifucity-iaa@nifty.com



〔きりと線〕

(あて先) 公益財団法人岐阜市国際交流協会

日中「食文化」「教育」「在留資格」交流会 (11/18) 参加申込書



ふりがな:	電話番号:	—	—
お名前:	(歳)	E-mail:	
ご住所 〒	—		
※一緒に参加するご家族のお名前、年齢			

日中「食文化」「教育」「在留資格」交流会 チラシ

(8) 特徴的な活動風景

参加者はグループごとに講師の指導を受け、餃子と中華ちまきを作りながら、日本人ボランティアさんと色々な話題で盛り上がりました。教育交流について、岐阜大学の「ポラネット」の大学生3人はパワーポイントで日本の教育制度を説明し、講師、講義補助者の中国語・日本語による解説・通訳を通じて、参加者たちと教育に関する意見交換を実施しました。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

料理づくりに通じて日本人住民との交流を図りました。また、料理を中心とした実用的な日本語を実践することにより、生活日本語の応用能力が向上しました。なお、日本の教育制度の現状や低学年教育の注意点など、参加者たちは関心がある内容を深く理解できました。

(10) 改善点について

参加者のこども教育に対する関心度が高く、多数の質問が寄せられました。今後、質問回答時間を確保し、開催時間を延長するように改善します。



写真 岐阜市国際交流協会、教育委員会などとの連携事業の状況

○ **取組4:** 岐阜市国際交流協会、岐阜市役所市民課との連携事業
新しい在留管理制度の説明

(1) 体制整備に向けた取組の目標

2012年7月から実施した新しい在留管理制度の説明

(2) 取組内容

2012年7月から新しい入国在留管理制度に移行されるため、岐阜市役所市民課担当者により、新制度の手続きの内容を説明し、講師、講義補助者は説明の補助を担当しました。この形式により、受講者は登録手続きなどに活用できる日本語の学習を行いました。

(3) 対象者

日本語教室の受講者他

(4) 参加者の募集方法

日本語教室受講者のネットワーク(電話・メール、SNS 連絡)及びチラシ

(5) 参加者の総数 38 人

(出身・国籍別内訳 中国 38人)

(6) 開催時間数(回数) 3 時間 (全 1 回)

(7) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	2012年11月18日 13:00～16:00	3時間	38人	中国籍 38人	新制度の説明、 登録手続きに 役立つ日本語 の学習	2012年7月から新しい入国制度に移行されるため、新制度の手続きの説明を通し、登録手続きなどに活用できる日本語の学習を行った。

(8) 特徴的な活動風景

事前に用意した資料を参考しながら、岐阜市市民課の担当職員が新しい入国管理制度の説明をしました。参加者は新制度についての不明点をその場で専門家に聞き、講師、講義補助者の指導により難しい専門用語が解釈され、疑問を即時に解決することができました。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

新しい入国管理制度の理解ができ、登録手続きに活用できる日本語の学習ができました。また、入国管理制度の理解度が高まることにより、今後、オーバーステイなど自覚がないまま違法状態になる案件の減少につながります。

(10) 改善点について

参加者の高いニーズによって、時間を延長するように改善します。



写真 岐阜市国際交流協会、岐阜市役所市民課との連携事業の状況

○**取組5：** 多文化共生リソースセンター東海及び岐阜市防災本部との連携事業
新春交流会

(1) 体制整備に向けた取組の目標

東海地方における自然災害発生時に役立つ日本語を学習します。

(2) 取組内容

東海地方における自然災害の発生に備えて、防災意識の啓発、防災訓練、救急救命などを通して、災害時に役立つ日本語学習を行いました。また、日本語を学習しながら、岐阜市防災本部災害時要援護者台帳を登録しました。

(3) 対象者

日本語教室の受講者他、中国系住民 65 歳以上の一般の方

(4) 参加者の募集方法

日本語教室受講者のネットワーク(電話・メール、SNS 連絡)とチラシ

(5) 参加者の総数 31 人

(出身・国籍別内訳 中国 21人、日本10人)

(6) 開催時間数(回数) 4 時間 (全 1 回)

(7) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	2013年3月17日 13:00～17:00	4時間	31人	中国籍 21人 日 本国籍10人	防災意識を啓 発	東海地方における自然災害の発生に備えて、防災意識の啓発、防災訓練、救急救命などを通して、災害時に役立つ日本語学習を行った。

(8) 特徴的な活動風景

講師は通訳や分かりやすい中国語による説明を行いました。参加者は防災意識の啓発ができ、災害時に役立つ非常時持ち出し品などの日本語を学習しました。



写真 多文化共生リソースセンター東海及び岐阜市防災本部との連携事業の状況

(9) 取組の目標の達成状況・成果

災害時に使える日本語の学習が行われ、参加者の防災意識の向上にも図れました。その以外、災害弱者である外国人の高齢者は、講師、講義補助者の指導を受けながら、岐阜市防災本部の災害時要援護者台帳に登録しました。

(10) 改善点について

東日本大震災、原発事故のような大きな自然災害や事故が発生した場合、被災地の外国系住民をどのように行動するかを指導する日本語教育の教材整備が充分とは言えません。今後、参加者の要望により、多くの外国系住民の希望者が受講できるように、このようなイベントを定期的開催した方がよいと考えます。

災害時要援護者台帳



に登録しましょう！

災害時に自力での避難が困難な方を地域で支援するため、
「災害時要援護者台帳」への登録をお願いしています。
まだ登録がお済みでない方は、お早めにご登録ください。

災害時要援護者台帳に登録すると



その方が自力避難が困難な理由などの情報を、市役所、地域の自主防災組織、消防団及び民生委員が共有して、平常時の防災指導や、災害時の安否確認などの支援に備えます。

《個人情報を守られます！》

台帳の個人情報は、法令に定められた場合を除き、上記以外の第三者に提供されることはありません。
また、目的外の用途に利用されることはありません。

《台帳への登録後も、自分の身は守るよう心がけましょう》

台帳に登録したからといって、すべての災害に万全の対応がとれるとは限りません。
日ごろから、自分の身は自分で守るという心がけを持ちましょう。

対象となる方

- ・要介護度3以上の方
- ・認知症高齢者
- ・ひとり暮らし高齢者（65歳以上）
- ・療育手帳A、A1、A2をお持ちの方
- ・高齢者世帯（夫婦ともに65歳以上）
- ・身体障害者手帳1、2級をお持ちの方
- ・寝たきり高齢者

※上記以外の方もご希望があれば登録できます。

登録方法



裏面の申請書を、福祉部各課または防災対策課へご提出ください。
（民生委員やケアマネジャーにお渡しいただいてもけっこうです。）

岐阜市役所 ☎265-4141（代表）

図 多文化共生リソースセンター東海及び岐阜市防災本部との連携事業
配布資料の一部

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

岐阜市及び近隣市町村の中国系定住者や永住者、日本人配偶者など中国系住民を対象とし、日常生活を営む上で必要となる日本語能力を身につけ、日本社会に早く溶け込めるよう、地域住民として自立した生活ができることを目的とします。

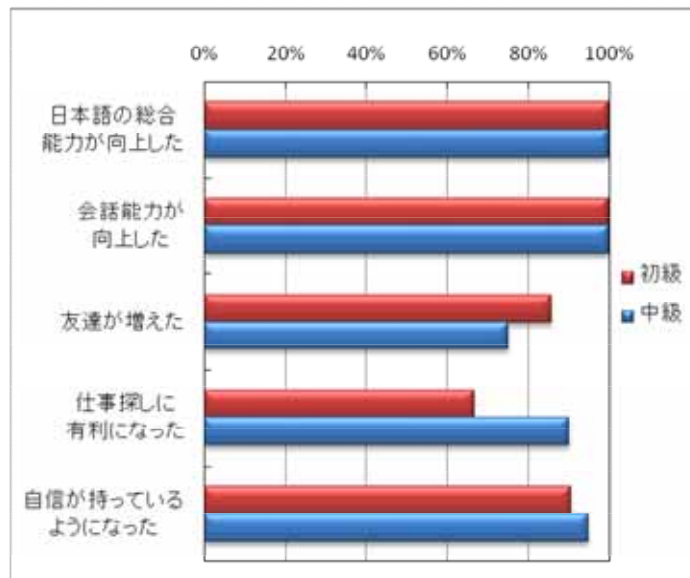
(2) 事業目的の達成状況

日本語教室の初級、中級クラスとも、受講者は基本的な日常会話ができ、積極的に日本語で話せるようになりました。受講者の日本語能力模擬試験を実施した結果、80%以上の中級受講者がN3級に、79%以上の初級受講者がN5級に合格しました。

また、日本語教室や各取組イベント参加による日本語学習の成果について、本事業の参加者を対象にアンケートを実施しました。その結果、下記項目の達成状況が確認できました。

クラス		初級	中級
受講者数	(人)	26	24
回答者数	(人)	21	20
回答率	(%)	80.8%	83.3%

クラス		初級		中級	
項目		回答者数	達成度	回答者数	達成度
		(人)	(%)	(人)	(%)
総回答者数(人)		21		20	
回答 内容	日本語の総合能力が向上した	21	100%	20	100%
	会話能力が向上した	21	100%	20	100%
	友達が増えた	18	86%	15	75%
	仕事探しに有利になった	14	67%	18	90%
	自信が持っているようになった	19	90%	19	95%



参加者アンケートの概要と結果

受講者は日本語教室の講義および各取組イベント中に、日本の文化や社会知識について、分からないことを母国語で即時に講師、講義補助者に聞くことができました。日本の医療、保険、年金、税金など、今まで日本語が不自由のため、理解できない部分を母国語、日本語の両方で説明を聞き、よく理解できるようになりました。

また、講師、講義補助者は受講対象者と同じく中国出身であり、講義実施時間以外の時間帯でも相談に対応したことで、受講者は日本語学習以外の悩み、不安を相談しやすく、日本での生活に対する不安感が減ってきたとの声が多数寄せられてきました。本事業の参加をきっかけに、日本に長年在住したが今まで日本語の勉強に興味がなかった方でも、日本語学習のはじめの一步を踏み出す姿勢と変わり、今後の継続的な学習も期待されます。

特に、受講者は各取組の参加によって、日本文化の理解、防災意識の啓発、生活習慣、新入国管理制度の理解、こどもの教育など、日本での生活に欠かせない各分野の知識を理解、吸収でき、日本社会において様々な不便、トラブルの減少につながります。

(3) 地域における事業の効果、成果

本事業の実施にあたり、岐阜市役所参画部、市民課、防災本部、財団法人岐阜市国際交流協会をはじめ、岐阜市国際交流ボランティア、岐阜大学ボラネット、多文化共生リソースセンター東海など他機関、他団体、及び地域住民の方々のご協力によって、順調かつ豊富な学習内容で終えることができました。

各取組の連携事業により、防災、教育、文化などの多彩・多様な分野を参画し、生活に必要な日本語を活用することで学習効果を向上するとともに、新たな人とのつながりが受講者の活動範囲を広げるきっかけとなり、地域社会で人間関係を築くことができました。

受講者は日本語による円滑なコミュニケーションを実現し、より多くの人と関わり、つながることで、外国系住民としての孤立を防ぐとともに、地域住民の異文化理解を深め、住みやすい地域づくりや地域の活性化に貢献し、多文化共生を進めることが図られました。

(4) 改善点、今後の課題について

現状

本団体が運営する日本語教育事業は、多くの外国系住民に日本語学習、地域交流の機会を提供してきました。また、日本語を学習するだけでは解決できない問題(防災、病気、教育、失業、借金、離婚、生活の退屈感や困窮など)の相談が日本語教室に持ち込まれることが多く、講師、講義補助者が多数の時間を費やして対応を行いました。

その一方、日本語を勉強したい人、日本語を勉強しなければならない人は依然数多くいます。しかし、外国人住民のそれぞれの日本語レベルや学習時間、場所に合う教

室が少ないため、受講で来ているのはその中の一部住民であることも事実です。なお、低所得者層の外国人の場合、日常生活に追われて日本語学習のための時間を十分に確保できなく、または日本語を必要としない仕事に就くことが多いという事情があり、日本語学習を継続することが難しい。

さらに、東日本大震災、原発事故のような大きな自然災害や事故が発生した場合、被災地の外国系住民をどのように行動するかを指導する日本語教育の教材整備が不十分です。

今後の課題

岐阜市と周辺地域以外に、日本語教育事業をその他の市町村でも実施し、また、通年にわたって実施すれば、更に社会貢献ができます。一方、人材と運営資金の不足で、多年齢層、多目的の日本語学習対象者が増えつつある多種多様なニーズに応えられない面もあります。

今後は限られる教育資源と運営資金の中で、如何に地方自治体やその他機関団体と連携して、各種学習ニーズに答えられ、より多くの学習チャンスを広い地域の日本語学習希望者に提供することが課題になります。

今後の活動予定

岐阜県の外国人数は依然高い割合にあり、それに定住化が進んでいるため、多文化共生は岐阜でも避けて通れない課題です。このため、多文化共生社会を構築するには、交流の支障である在住外国人と日本人の言葉の壁、制度の壁、心の壁を取り除けなければなりません。その中、日本語学習は最も根本的な手段とは言えます。

本団体が運営する日本語教育事業は、岐阜市をはじめとした行政機関や他団体との連携を図りながら、岐阜地域の外国系住民を対象者とした日本語学習の基盤の一つとして定着し、多種多様な学習者のニーズに対応してきました。今後の日本語教育事業の中でも、長年構築してきたネットワーク、運営経験を活かし、さらに地域とのつながりを深めながら教育内容を充実させ、地域と共に発展する日本語教室を目指して、微力ながら貢献していきたいと考えています。

引き続きのご支援ご指導、宜しくお願い申し上げます。